

令和5年度岡山県「スマート農業技術開発プラットフォーム」 部門別交流（プラカフェ）開催実績

- 1 日 時 令和5年10月4日（水）13:30～
- 2 場 所 農林水産総合センター 農業研究所研修交流ホール
- 3 参加者 プラットフォームの会員企業、関係機関、県の担当者等 27名
- 4 目 的 水稻の高品質安定多収生産には、圃場ごとの生育状況に応じた栽培管理を行うことが理想であるが、従来の生育診断法（草丈・茎数等の測定や収量の把握など）を大規模経営で行うことは、労力の点で困難である。
画像をもとに生育診断、収量診断を行う機械・器具等の活用について現地見学するとともに、診断ツールの開発や産地の課題解決に向けた意見交換を行う。
- 5 内 容
 - ①スマート農業プラットフォームについて（産学連携推進課）
 - ②AIによる水稻の収量推定について（岡山大学大学院環境生命科学研究科 田中佑准教授）
 - ③画像による水稻の収穫適期判断について（岡山理科大学工学部情報工学科 上田千晶講師）
 - ④ドローン撮影画像による施肥判断（県農業研究所 作物・経営研究室 妹尾知憲室長）
 - ⑤ザルビオフィールドマネージャーの活用について（全農岡山県本部管理部 賀藤担当）



講演の様子